

災害の概況と推移

火災 - Fire -



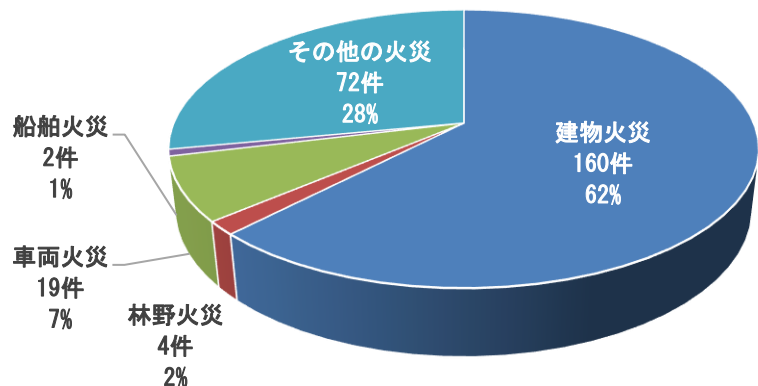
1 火災発生内訳（令和4年中）

令和4年中に広島市消防局管内で発生した火災は257件で、これにより9人の死者と45人の負傷者が発生した。また、損害額は合計で56億4298万円、建物の焼損面積は13,319㎡であった。

火災種別で見ると、「建物火災」が160件で約6割を占めており、前年から6件増加している。また、「車両火災」は19件で、前年から8件減少している。

区分	年別	令和4年	令和3年	増減
火災件数（件）		257	247	10
建物火災		160 (62.3%)	154 (62.3%)	6
林野火災		4 (1.6%)	6 (2.4%)	△ 2
車両火災		19 (7.4%)	27 (10.9%)	△ 8
船舶火災		2 (0.8%)	1 (0.4%)	1
その他の火災		72 (28.0%)	59 (23.9%)	13
損害額（千円）		5,642,980	802,773	4,840,207
建物焼損面積（㎡）		13,319	6,293	7,026
林野焼損面積（a）		10	39	△ 29
死者（人）		9	15	△ 6
負傷者（人）		45	39	6

【火災種別の割合】



※ 各内訳の割合数値は、小数点以下第二位を四捨五入しているため、総比率が100%にならない場合がある。

2 過去10年間の火災件数等の推移

この10年間の火災件数の推移をみると、420件であった平成25年以降、おおむね減少傾向となっているが、火災による損害額及び建物焼損面積については、令和4年に大きく増加している。これは令和4年9月に発生した中区江波沖町での建物火災によるものである。

年別	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
火災件数(件)	420	378	305	299	316	260	277	229	247	257
損害額(10万円)	7,898	6,359	4,488	4,905	4,742	5,396	3,614	2,700	8,028	56,430
建物焼損面積(m ²)	7,311	5,700	5,188	3,358	4,082	4,068	3,690	3,727	6,293	13,319
死者(人)	9	30	20	5	8	10	9	5	15	9
負傷者(人)	50	65	64	54	60	49	40	51	39	45

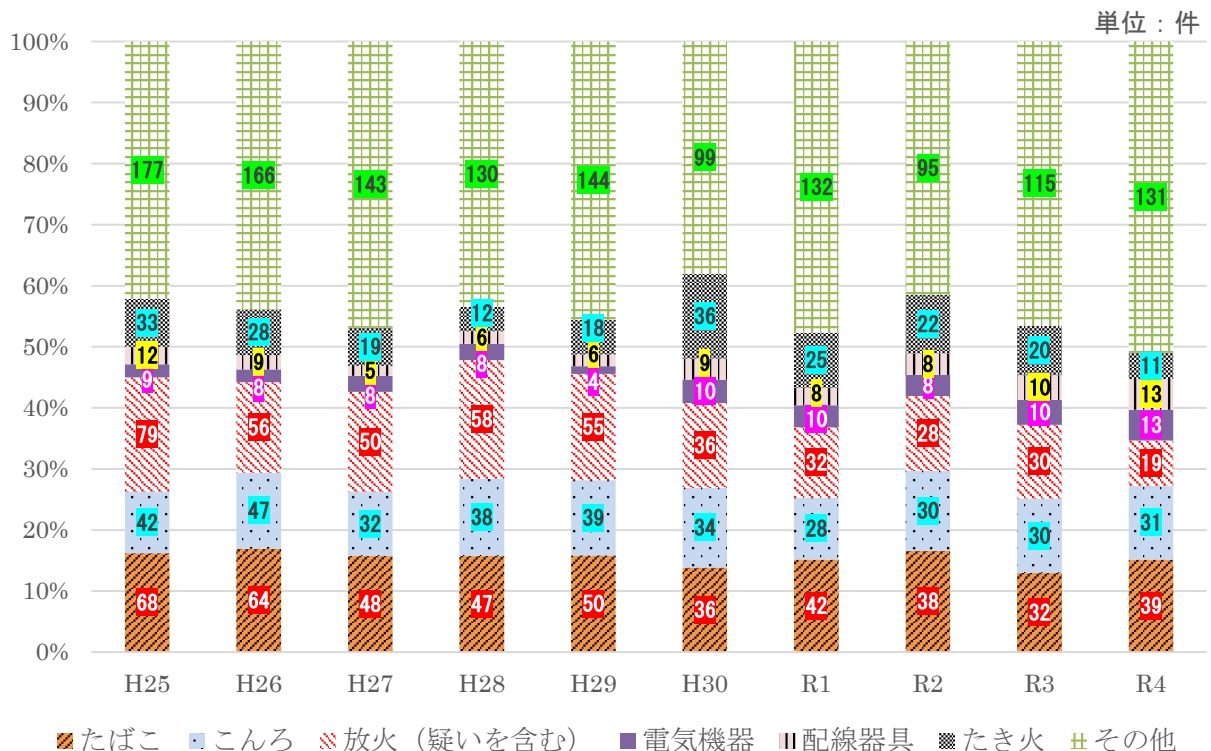
3 出火原因別火災件数(令和4年中)

令和4年中の火災を出火原因別にみると、「たばこ」が39件(15.2%)で最も多く、次いで「こんろ」が31件(12.1%)、「放火(疑いを含む)」が19件(7.4%)となっている。

区分	総数	たばこ	こんろ	放火(疑いを含む)	電気機器	配線器具	たき火	その他
件数	257	39	31	19	13	13	11	131
構成比	100.0%	15.2%	12.1%	7.4%	5.1%	5.1%	4.3%	51.0%

4 過去10年間の火災原因の構成比

出火原因の推移をみると、「放火(疑いを含む)」による火災は、平成25年以降、多くの年で出火原因の第1位となっていたが、平成30年に「たばこ」による火災と同数で並び、令和元年以降は現在に至るまで「たばこ」による火災が第1位となっている。



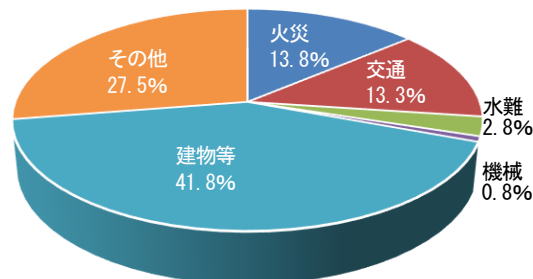
救助 - Rescue -



1 救助件数内訳（令和4年中）

令和4年中の広島市消防局管内の救助件数は、1,040件で、前年の1,021件と比較して19件の増加となった。

件数の内訳は、建物内に閉じ込められる事故などが該当する「建物等による事故」が435件で全体の41.8%を占め、他に掲げる事故以外の事故で、消防機関による救助を必要としたもの等が該当する「その他の事故」が286件(27.5%)、「火災」が144件(13.8%)となっている。

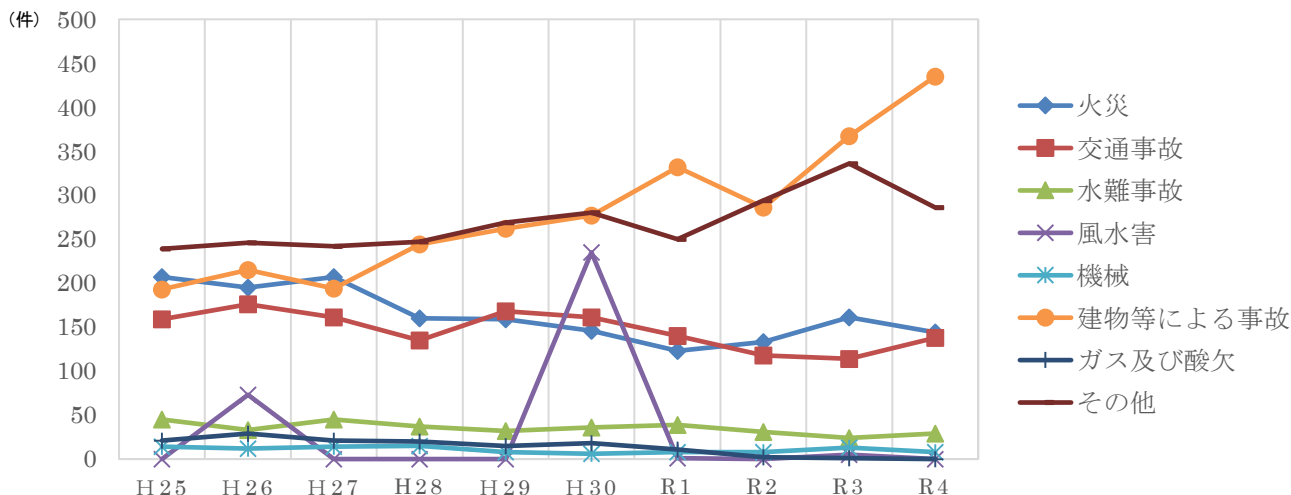


2 過去10年間の救助件数の推移

過去10年間の救助件数の推移をみると、平成25年の878件に対し約18%の増加となっている。

年別	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	
救助件数	878 (100)	979 (112)	884 (101)	858 (98)	913 (104)	1,159 (132)	904 (103)	872 (99)	1,021 (116)	1,040 (118)	
内 訳	火災	207 (102)	195 (94)	207 (100)	160 (77)	159 (99)	146 (92)	123 (84)	133 (108)	161 (121)	144 (89)
	交通事故	159 (100)	176 (111)	161 (101)	135 (85)	168 (106)	161 (101)	140 (88)	118 (74)	114 (72)	138 (87)
	水難事故	45 (100)	33 (73)	45 (100)	37 (82)	32 (71)	36 (80)	39 (87)	31 (69)	24 (53)	29 (64)
	風水害等 自然災害	0 (-)	73 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	235 (-)	1 (-)	0 (-)	5 (-)	0 (-)
	機械に よる事故	14 (100)	12 (86)	14 (100)	15 (107)	8 (57)	6 (43)	8 (57)	8 (57)	13 (93)	8 (57)
	建物等に よる事故	193 (100)	215 (111)	194 (101)	244 (126)	262 (136)	277 (144)	332 (172)	286 (148)	367 (190)	435 (225)
	ガス及び 酸欠事故	21 (100)	29 (138)	21 (100)	20 (95)	15 (71)	18 (86)	11 (52)	2 (10)	1 (5)	0 (0)
	その他の 事故	239 (100)	246 (103)	242 (101)	247 (103)	269 (113)	280 (117)	250 (105)	294 (123)	336 (141)	286 (120)

【備考】 () 内は、平成25年を指数100として表した数値である。



救急 - Ambulance -

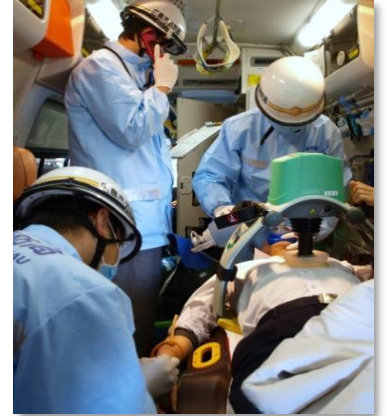


1 救急件数内訳（令和4年中）

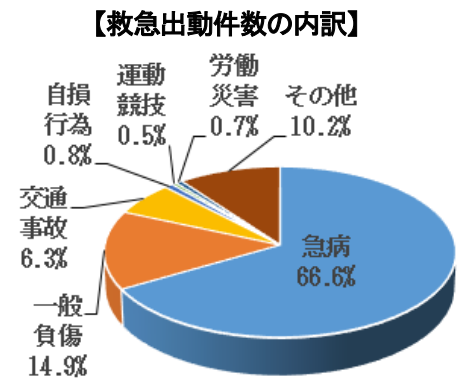
令和4年中の出動件数は、69,686件で、前年と比較すると10,327件（17.4%）増加し、搬送人員は57,710人で7,059人（13.9%）の増加であった。これを一日に平均すると約191件出動し、約158人搬送したこととなり、約8分に1件の割合で救急出動がされたこととなる。

事故種別でみると、「急病」が46,444件で最も多く、全体の約7割を占めており、前年と比較して8,610件の増加となった。次いで多いのは「一般負傷」で10,378件、「交通事故」は4,397件となっている。前年と比較して「一般負傷」は953件の増加、「交通事故」は323件の増加となっている。

平成12年4月1日からはヘリコプターによる救急搬送業務を開始しており、令和4年中は64件救急出動し、34人の搬送を行っている。



区分	年別	R4	R3	増減	増減率
出動件数		69,686	59,359	10,327	17.4
急病		46,444	37,834	8,610	22.8
一般負傷		10,378	9,425	953	10.1
交通事故		4,397	4,074	323	7.9
自損行為		578	562	16	2.8
運動競技		321	242	79	32.6
労働災害		468	451	17	3.8
その他		7,100	6,771	329	4.9
搬送人員（人）		57,710	50,651	7,059	13.9



※ 各内訳の割合数値は小数点以下第二位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

2 過去10年間の救急件数の推移

区分	年別	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
出動件数		55,448	56,045	57,746	57,978	59,752	61,865	60,907	55,383	59,359	69,686
急病		32,856	33,365	35,215	35,733	36,760	38,693	39,036	35,048	37,834	46,444
一般負傷		7,972	8,257	8,257	8,458	9,027	9,166	9,159	8,929	9,425	10,378
交通事故		6,202	5,842	5,653	5,420	5,301	5,104	4,686	4,113	4,074	4,397
自損行為		660	640	606	507	484	445	460	523	562	578
運動競技		405	370	373	346	373	410	322	214	242	321
労働災害		415	412	402	396	418	443	425	387	451	468
その他		6,938	7,159	7,240	7,118	7,389	7,604	6,819	6,169	6,771	7,100